

## 令和2年度 事業調査結果A 文化芸術分野(令和元年度実施事業)

◎調査結果Aの対象事業は以下のとおりです。

調査結果Aの事業は、主に以下の(1)～(3)に該当する事業です。

- (1) アカデミー推進計画(平成28年3月)のp16～79に掲載されている事業
- (2) 基本構想実施計画(平成29～31年度)に掲載されている事業のうち、中項目が「生涯学習」「文化振興」「スポーツ振興」「観光」「交流」の事業
- (3) 令和元年度の重点施策事業のうち、「コミュニティ・産業・文化」分野に該当する事業

※それ以外の事業は「令和2年度 事業調査結果B 文化芸術分野」に掲載されています。

## 調査結果Aの記載内容について

調査結果Aの各項目については、以下の内容が記載されています。

- 「頁」
  - ・「アカデミー推進計画」の掲載ページ
- 「実施計画事業番号」
  - ・「文京区基本構想実施計画(平成29年度～31年度)」の事業番号
- 「事業名」
  - ・事業名
- 「事業概要」
  - ・事業概要
- 「事業費」
  - ・事業に係る予算及び決算
- 「実績(数)」
  - ・当初予定数(定員)：当初予定していた参加者数や発行部数等(事業の定員や予算計上時の積算数等)
  - 実績数：実際の参加者数、発行部数等
  - 申込数：申込者数等
- 「参加者満足度」
  - ・事業でアンケートを実施した場合、「満足」や「よかった」と回答した割合
- 「事業実施内容」
  - ・令和元年度事業の実施状況
- 「成果」
  - ・事業で得られた成果
- 「課題」
  - ・不十分だった点や改善すべき点
- 「課題解決に向けた取組」
  - ・課題解決に向けた今後の事業の取組
- 「担当課」
  - ・事業を担当する課

文化芸術		(所管課)
【分野別目標1】 だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり		
1	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	アカデミー推進課
2	I don't know(能)…NO(能)problem!～みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト～	アカデミー推進課
3	事業提携楽団によるコンサート	アカデミー推進課
4	小・中学生のための出前コンサート	アカデミー推進課
5	文の京コミュニティコンサート	アカデミー推進課
6	日本ドイツ親善交流演奏会	アカデミー推進課
7	小・中学生のための歴史教室	アカデミー推進課
8	文京ミュージックフェスタ	アカデミー推進課
9	子ども俳句大会	アカデミー推進課
10	親子向けコンサート	アカデミー推進課
11	紙媒体による情報提供	アカデミー推進課
【分野別目標2】 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援		
12	「アートウォール・シビック」への作品展示	アカデミー推進課
13	観客参加型公演	アカデミー推進課
14	朗読コンテスト	アカデミー推進課
15	かるたの街文京を発信!	アカデミー推進課
16	まるキャンマーケット～夏の陣、冬の陣～	アカデミー推進課
17	吹奏楽アンサンブルコンテスト	アカデミー推進課
18	楽器演奏指導	アカデミー推進課
19	舞台芸術創造事業(大ホール)	アカデミー推進課
20	舞台芸術創造事業(小ホール)	アカデミー推進課
21	シビックコンサート	アカデミー推進課
22	カレッジコンサート	アカデミー推進課
【分野別目標3】 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり		
23	史跡めぐり	アカデミー推進課
24	文京ゆかりの文化人顕彰事業	アカデミー推進課
25	文の京ワークショップ	アカデミー推進課
26	新・観潮楼歌会	アカデミー推進課
27	「文の京文化発信プロジェクト」	アカデミー推進課
28	盛岡市との友好都市提携記念事業	アカデミー推進課
29	文京ふるさと歴史館友の会の支援	アカデミー推進課
30	文京ふるさと歴史館常設展示解説ボランティア	アカデミー推進課
31	森鷗外記念館解説ボランティア	アカデミー推進課
32	技能名匠認定事業	経済課
33	「来て見て体験」文京の伝統工芸	経済課
34	文京ふるさと歴史館特別展	アカデミー推進課
35	文京ふるさと歴史館収蔵品展	アカデミー推進課
36	森鷗外記念館特別展・コレクション企画	アカデミー推進課
37	映像資料調査・保存事業	アカデミー推進課
38	指定文化財等の保護・保存と管理	教育総務課
39	文の京ミュージアムネットワーク	アカデミー推進課
40	コンピューターによる館内閲覧システム	アカデミー推進課
41	文京ふるさと歴史館だより・年報の発行	アカデミー推進課
42	森鷗外記念館ニュース・年報の発行	アカデミー推進課

令和2年度 事業調査結果A 文化芸術分野(令和元年度実施事業)

【分野別目標1】 だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課			
【基本的な方向性(1)】 文化芸術への興味や知識を高める															
1	42	文03-03	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)、企画展、区民能楽鑑賞会を実施する。	予算	12,825	当初予定数(定員等)	—	文化祭(華道展・書道展・絵画展): 10月4日~11月3日 会場 シビックセンター1階ギャラリーシビック、アートサロン 民謡のつどい: 6月30日 会場 シビックホール小ホール 三曲のつどい: 2月23日 会場 シビックホール小ホール 合唱のつどい: 1月26日 会場 シビックホール大ホール 民謡大会: 6月16日 会場 シビックホール小ホール 謡曲大会: 9月7日 会場 宝生能楽堂 吟剣詩舞道大会: 9月29日 会場 シビックホール小ホール 区民能楽鑑賞会: 8月4日 会場 宝生能楽堂 演目「石橋」(金沢市友好交流都市協定締結式と同時開催) 企画展「没後1年 洋画家村田省蔵がみつめた情景展 -金沢市友好交流都市協定締結記念によせて-」: 2月15日~23日 会場 シビックセンター1階ギャラリーシビック	各種事業を実施することにより、区民に芸術・伝統芸能に触れる機会の提供ができた。	特につどい・区民大会については、参加者の固定化・高齢化が進んでいる。	新規参加者や若年者に参加してもらえるよう、広報の方法や内容について検討していく。	アカデミー推進課		
					決算	9,963	実績数	18,145 人						—	
							申込数	—						—	
2		文01-04	I don't know (能) ...NO (能) problem! ~みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト~	子どもたちに区内の貴重な文化資源である能に興味を持ってもらえるよう、公益社団法人宝生会と連携し、「鑑賞」と「体験」を交えた能に係るプログラムを実施する。	予算	1,038	当初予定数(定員等)	320 人	96.0%	実施日: 8月18日(日) 会場: 宝生能楽堂 内容: 能「小鍛冶」の鑑賞や能楽堂バックステージツアー、楽器・装束、謡、ARメガネの体験を実施。	子どもたちに普段あまり触れることのできない能の鑑賞・体験の場を提供し、伝統文化に親しんでもらうことができた。	当日の参加者数が少ないため、実施時間や内容を再度検討する必要がある。	繰り返し参加しても新たな発見があるよう、新しい演目や体験の追加等、事業内容を工夫していく。	アカデミー推進課	
					決算	1,001	実績数	259 人							80.9%
							申込数	442 人							138.1%
3	42	文03-02	事業提携乐团によるコンサート	区及び文京アカデミーと事業提携を結び、東京フィルハーモニー交響楽団及びシエナ・ウインド・オーケストラの協力によりコンサートを開催する。	予算	30,448	当初予定数(定員等)	6,796 人	91.4%	【平成14年度~】響きの森クラシック・シリーズ Vol.68 5月18日(土)実施 1,653名 Vol.69 9月14日(土)実施 1,644名 Vol.70 1月25日(土)実施 1,615名 フレッシュ名曲コンサート ランチタイムコンサート 5月10日(金)実施 269名 【平成22年度~】シエナ・ウインド・オーケストラによるコンサート 12月24日(火)実施 1,732名	事業提携乐团である東京フィルの「響きの森クラシック・シリーズ」及びシエナ・ウインド・オーケストラの公演は、共に固定のファンが多く、一定の来場数を見込むことができる。	ホールの来場者を増やすため、さらなる顧客の獲得と定着を図る必要がある。	公演の見どころガイドやYouTubeによる出演者インタビューなどをホームページに掲載し、ファンのすそ野拡大を図る。	アカデミー推進課	
					決算	30,448	実績数	6,913 人							101.7%
							申込数	—							—
4	42	文03-01	小・中学生のための出前コンサート	区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結び、東京フィルハーモニー交響楽団及びシエナ・ウインド・オーケストラの協力により、区立小・中学校への出前コンサートを行う。	予算	2,310	当初予定数(定員等)	4 回	—	【平成20年度~】小学校/東京フィルハーモニー交響楽団 小日向台町小学校 10月2日(水)実施 478名 磯川小学校 10月3日(木)実施 372名 【平成23年度~】中学校/シエナ・ウインド・オーケストラ 第十中学校 9月5日(木)実施 207名 第九中学校 9月7日(土)実施 409名	初めて生演奏を聴く児童・生徒もあり、毎回、高い評価を得ている。	年間で、小学校は実施を希望する学校2校、中学校は行政順に2校の訪問となっているため、体験できないまま卒業してしまう児童・生徒が多数いる。また、興味を持って鑑賞してもらうため、小・中学生のニーズにあったプログラムを実施していく必要がある。	児童・生徒の感想や学校の要望に応じて、プログラム(演奏曲)の見直しを行う。	アカデミー推進課	
					決算	2,292	実績数	4 回							100.0%
							申込数	—							—
5	42	文03-01	文の京コミュニティコンサート	区民が気軽に文化芸術に親しむ機会を提供するため、区内ミュージックネット施設においてコンサートを実施する。	予算	330	当初予定数(定員等)	2 回	—	【平成22年度~】 宇宙ミュージアムTeNo 9月23日(月・祝)実施 75人 東洋文庫ミュージアム 3月19日(木)新型コロナウイルスにより中止	ミュージックネット施設で出前コンサートを行い、区民にとってより身近な場で生演奏を聴く機会を提供することができている。観客の満足度も高く、地域のニーズにあった事業となっている。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、3月のコンサートは中止した。	会場のキャパシティにより、来場者数を制限せざるを得ない場合がある。また、観客のニーズにあった公演を実施していく必要がある。	前年度の来場者アンケートや開催施設の意見を聴き、演奏するアーティストと協議の上、プログラムを構成する。	アカデミー推進課	
					決算	230	実績数	1 回							50.0%
							申込数	—							—

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)		実績(数)			参加者 満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課
					予算	決算	当初予定数 (定員等)	実績数	申込数						
6			日本ドイツ親善 交流演奏会	東邦音楽大学と協力し、東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大 会ホストタウンであるドイツ連邦共 和国にスポットを当てた演奏会を実施 する。併せてドイツの観光や文化 について紹介する展示を実施。	予算	1,151	当初予定数 (定員等)	1,000人	—	—	日本ドイツ親善交流演奏会 実施日:7月13日 会場:シビックホール大ホール 内容:東邦音楽大学・ライプツィヒユースシン フォニーオーケストラの演奏や、区内小学校 合唱団・区内合唱団体の発表。  ドイツ展 実施日:7月11日~13日 会場:シビックセンター1階ギャラリーシビック	多くの方の申込み・来場があった。 出演者同士の国際交流の場とな るとともに、ドイツ展を実施すること により、来場者にドイツの魅力を PRできた。	出演者や来場者が多く、受付や出 演者の誘導などで手間取ってし まった場面があった。	今回の反省点をまとめ、次回以降の 事業がスムーズに実施できるよう改 善していく。	アカデ ミー推進 課
					決算	1,077	実績数	830人	83.0%						
							申込数	4,927人	492.7%						

【基本的な方向性(2)】だれもが参加しやすい仕組みづくり

7	43		小・中学生のた めの歴史教室	夏休み期間中にクイズイベントなど を実施し、参加することを契機とし て、歴史・文化についての興味や文 京区への愛着を深める。	予算	132	当初予定数 (定員等)	—	—	90.0%	【実施期間】 7月20日~9月1日 【場所】 常設展示室 【内容】 「わがはいい宝さがし 歴史館でお宝をさが そう!」として、歴史館の展示物に関するクイ ズに回答する。	クイズの答えを探しながら、楽しく イベントに参加することで、文京区 の歴史や文化、人々の生活に興味・関心を持ってもらうことができ た。	アンケート結果では、クイズの難易 度についての意見や参加者が何 かを作るイベントの要望があった。	対象者に合わせたクイズの設問を工 夫する必要がある。ワークショップ形 式のイベントについては、今後の事 業として実施の可能性を検討してい く。	アカデ ミー推進 課
					決算	129	実績数	346人	—						
							申込数	—	—						
8	43		文京ミュージ フェスタ	区内にある博物館・美術館・庭園など 36施設を結ぶ「文の京ミュージア ムネットワーク」の合同イベント。各 施設が持つ文化的資産や歴史的資 産を紹介する。	予算	99	当初予定数 (定員等)	—	—	—	実施日:12月17日 文京ミュージアムネットワーク加盟施設による 展示を実施。 23施設が参加(展示・体験17施設、チラシの み6施設)。	美術館・博物館をはじめ、区内の さまざまな施設の周知ができた。	参加者数が伸び悩んでいる。	より多くの方にご来場いただけるよう 周知方法や実施期間の延長などを 検討していく。	アカデ ミー推進 課
					決算	99	実績数	525人	—						
							申込数	—	—						
9	43		子ども俳句大会	中学生に俳句を通して自然や四季、 日本語の美しさ、俳句の楽しさを周 知するため、区内中学校在学学生を 対象に、俳句を募集し、優秀作品を 発表する。	予算	72	当初予定数 (定員等)	—	—	—	【平成28年度~】 ・中学生俳句大会(募集期間10~11月) 応募数631句	優れた作品には記念品を贈呈し た。また、入選作品をまとめた作品 集を発行した。	応募数は学校の協力を負うところ が大きく、その数は年によって増 減する。	区立中学校の協力を得て、事前の事 業周知を徹底し、広く募集する。	アカデ ミー推進 課
					決算	54	実績数	631句	—						
							申込数	631句	—						
10	43	文03- 02	親子向けコン サート	区及び(公財)文京アカデミーと事業 提携を結ぶ、東京フィルハーモニー 交響楽団及びシエナ・ウインド・オー ケストラの協力により、子どもが保 護者等と一緒に楽しめるコンサートを 開催する。	予算	5,175	当初予定数 (定員等)	1,143人	—	89.5%	【平成23年度~】東京フィル・親子で楽しむ “はじめてのオーケストラ” 第1回 8月24日(土)実施 292名 第2回 8月25日(日)実施 314名 【平成23年度~】シエナ フルーツの国のおん がくパーティー♪ 第1回 2月29日(土)新型コロナウイルスに より中止 第2回 3月1日(日)新型コロナウイルスによ り中止	事業提携団体の協力を得て、親子 向けのコンサートを開催している。 自主制作による公演であり、リ ピーターも多く、観客から高い評価 を得ている。 今年度、2・3月のコンサートについ ては、新型コロナウイルスの影響 により中止した。	ホールの来場者を増やすため、さら なるファンの獲得と定着を図る 必要がある。	来場者アンケート等を参考に、出演 者等の協力を得て演奏曲や演出等 を見直し、より魅力的な内容とする。	アカデ ミー推進 課
					決算	5,043	実績数	606人	53.0%						
							申込数	—	—						

【基本的な方向性(3)】多様な主体・媒体による情報提供の仕組みづくり

11	44		紙媒体による情 報提供	区報や指定管理者の発行する情報 紙により、文化芸術関連情報を提供 する。	予算	15,525	当初予定数 (定員等)	1,200,000部	—	—	指定管理者発行の「スクエア」による文化芸 術関連情報の提供	発行部数毎月100,000部 【内訳】 区内新聞折込配布90,000部 窓口・駅・大学10,000部 経費の半分は財団自主財源で発 行	区民に信頼される情報紙として、 読みやすく、わかりやすい紙面づく りをする必要がある。	編集部会を定期的に開催し、掲載内 容の共有や記載方法の統一化など、 情報共有を図る。	アカデ ミー推進 課
					決算	15,520	実績数	1,200,000部	100.0%						
							申込数	—	—						

令和2年度 事業調査結果A 文化芸術分野(令和元年度実施事業)

【分野別目標2】文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課			
【基本的な方向性(1)】鑑賞・参加・創造・発表の機会と場所の充実															
12	45		「アートウォール・シビック」への作品展示	若手芸術家の育成を図るため、シビックセンターの壁面を利用して平面美術作品の展示を行う。	予算	30	当初予定数(定員等)	—	11回実施(3月は中止) 出品者数166人、出品点数427点	—	区民に作品発表の場を提供するとともに、来庁者が気軽に美術作品に触れる機会を提供することができた。	前年度と比較すると、出品者数は増えているが、出品者は固定されつつある。	出品実績が無い学校や施設等にも個別に声掛けを行い、新たな出品者の参加を促すことで、事業の活性化を図っていく。	アカデミー推進課	
					決算	30	実績数	166人							—
							申込数	166人							—
13	45		観客参加型公演	区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結ぶ、太鼓芸能集団鼓童の協力により、和太鼓の演奏体験ができる公演とワークショップを開催する。	予算	729	当初予定数(定員等)	303人	【平成22年度～】文京シビックに“鼓童”がやってくる！ 親子で楽しむ太鼓ワークショップ 9月21日(土)実施 12組31名 ふんきょう交流公演 9月21日(土)実施 310名	90.9%	事業提携団体の協力を得て、公演前にワークショップを実施すると共に、公演の中でも実際に和太鼓演奏を体験する機会を提供する観客参加型公演を開催している。小ホール公演のため、演奏者との距離が近く、迫力のある演奏が好評を得ている。	ワークショップは毎年定員以上の申し込みがあり抽選となっている。	出演者等と協議し、ワークショップ参加人数の増加について検討する。	アカデミー推進課	
					決算	729	実績数	310人							102.3%
							申込数	—							—
14	45		朗読コンテスト	文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行う。跡見学園女子大学との大学連携により実施する。	予算	1,760	当初予定数(定員等)	200人	【平成24年度～】年1回 課題作家：泉鏡花、内田百閒、江戸川乱歩、永井荷風、萩原朔太郎、室生犀星 録音審査応募者：216名、本選：10月20日 出場者：16名 観覧者：179名 会場：跡見学園女子大学プロッサムホール	90.3%	平成29年度以降、受付期間最終日を待たずに定員に達する状態が続いており、多くの方の関心を集めている。 課題作を文京区ゆかりの作家の作品とすることで、多くの方にとって触れる機会が増えている。	年々、受付開始日の応募者数が増えており、元年度は開始日当日に定員に達してしまっただけで、申し込み定員の増加等の対応について、今後、検討していく必要がある。	跡見学園と今後の受付方法等について協議していく。	アカデミー推進課	
					決算	1,760	実績数	216人							108.0%
							申込数	216人							108.0%
15	文03-04		かるたの街文京を発信！	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施する。	予算	1,066	当初予定数(定員等)	—	「2020インターナショナル小倉百人一首かるたフェスティバル」に向けたPR動画の作成や、小中学校に講師を派遣するかるた教室を実施。 【かるた教室実績】 2校(第六中学校、第三中学校)	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、かるたフェスティバルの1年程度の延期が決まった。 区内中学校に講師を派遣し、本格的な競技かるたに触れる機会の提供ができた。	来年度の「2020インターナショナル小倉百人一首かるたフェスティバル」開催に向け、新型コロナウイルス感染症対策を含め、内容を再検討する必要がある。	(一社)かるた協会をはじめ、関係者の方々と今後の進め方について協議していく。	アカデミー推進課	
					決算	732	実績数	—							—
							申込数	—							—
16			まるキャンマーケット～夏の陣、冬の陣～	文京区をまるごとキャンパスに見立て、区内各所において、様々な人々が文化芸術を見て、聴いて、体験できる様々なイベントを実施する。	予算	3,643	当初予定数(定員等)	150人	・薪能(実績数は薪能のみの数値) 開催日：5月19日 会場：肥後細川庭園 内容：「黒塚」  ・定点ピアノ 実施日：令和元年4月1日～令和2年3月31日 会場：シビックセンター25階展望ラウンジ	—	薪能について、開催時期を7月から5月に変更し、当日の参加者が1割程度増えた。 定点ピアノについて、来庁者に気軽に楽器触れていただくことができた。ラウンジバー開催時には、カホンやベース等も設置した。	薪能では、雨天の場合の対応策を検討する必要がある。 また、今年度新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった「華茶書香道体験」について、来年度どのように実施するか検討する必要がある。	宝生会や華茶道連盟等関係者と、事業内容などについて協議していく。	アカデミー推進課	
					決算	3,152	実績数	142人							94.7%
							申込数	758人							505.3%
【基本的な方向性(2)】文化芸術活動をする人・団体への支援															
17	46	文03-02	吹奏楽アンサンブルコンテスト	公募したアンサンブル団体に事業提携を結ぶシエナ・ウインド・オーケストラの団員が演奏指導した上で、演奏の講評・表彰を行うコンテストを開催する。	予算	1,219	当初予定数(定員等)	27団体	【平成22年度～】第10回 シエナdeアン・コン！～アンサンブルコンテスト～ 12月7日(土)実施 425名(4部門・出場23団体)	94.4%	平成25年度より出場団体にシエナメンバーによる2時間の事前レッスンを開始。プロからの直接指導ということもあり、参加団体から高い評価を得ている。 平成30年度から小学生部門を新設し、参加者の幅を広げている。	小学生部門を設置したことにより新たな観客を得ることができたが、一般部門については観客数が伸び悩んでいる。	広報紙およびホームページによる宣伝を行うと共に、出演者による口コミ宣伝の協力を依頼していく。	アカデミー推進課	
					決算	1,219	実績数	24団体							88.9%
							申込数	—							—
18	46	文03-01	楽器演奏指導	区立中学校の吹奏楽部員を対象に、事業提携を結ぶシエナ・ウインド・オーケストラ団員が楽器演奏指導を行う。	予算	810	当初予定数(定員等)	30回	【平成23年度～】中学生のための吹奏楽クリニック 7月2日(火)～7月31日(水)実施 96名(全30回・区立中学校10校)	—	個別レッスンに近い形で実施されており、クリニックを受けた各校から高い評価を得ている。	普段の練習状況やどのような指導を希望しているか等、各校の状況について事前に細かく把握した上で、指導にあたることが求められている。	事前に吹奏楽部顧問の先生にニーズを聴き取り、指導者であるシエナ・ウインド・オーケストラの団員に伝えた上で指導にあたってもらう。	アカデミー推進課	
					決算	810	実績数	30回							100.0%
							申込数	—							—

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課			
【基本的な方向性(3)】 人材の育成と活動支援															
19	47	文03-02	舞台芸術創造事業(大ホール)	区民を対象にオペラ公演の開催を目標とする講習会を実施し、卒業公演を開催する。	予算	9,410	当初予定数(定員等)	126人	—	84.9%	【平成12年度～】CITTADINO歌劇団第20期生講習会 令和元年8月～令和2年2月まで週1～2回実施 延べ58回 受講者数 キヤスト21名 合唱団111名 公演 2月16日(日)実施 1,467名	区民参加事業でありながら、オーケストラ伴奏、舞台セットを組んだ本格的なオペラ上演であり、好評を得ている。合唱団には毎年100名以上の応募があり、定着が見られる。令和元年度は公開ゲネプロを開催し、多くの区民に鑑賞する機会を提供することができた。	合唱団の応募について定着が見られるが、パートによって応募数にバラつきが生じている。	広報紙による周知だけでなく、参加者募集チラシをより広く配布し周知していく。	アカデミー推進課
					決算	9,344	実績数	132人	104.8%						
							申込数	—	—						
20	47	文03-02	舞台芸術創造事業(小ホール)	区民を対象に演劇公演の開催を目標とする講習会を実施し、卒業公演を開催する。	予算	2,745	当初予定数(定員等)	15人	—	83.5%	【平成8年度～】音楽劇ワークショップ“ぶんきょう演戯塾”講習会 6月～2月の週2回、延べ64回実施 受講者数 17名 公演 2月2日(日)実施 465名	平成29年度からは新たな講師を迎えて内容を一新した。卒業公演では舞台手話通訳を取り入れる等により、観客からも高い評価を得ている。令和元年度は、舞台手話通訳者養成講座も同時に行い、受講者が本番の舞台で舞台手話通訳を行った。	引き続き、参加者のニーズにあったプログラムを提供していく必要がある。	講師(演出家)と適宜相談の上、その時点の受講生の習熟度にあわせて、内容を変更しつつワークショップを進めていく。	アカデミー推進課
					決算	2,845	実績数	17人	113.3%						
							申込数	—	—						
21	47	文03-01	シビックコンサート	クラシック、ポップス、ジャズ等、様々なジャンルの音楽を、区内の大学及び専門学校生が演奏するランチタイムコンサートを実施する。平成28年度より、財団の指定管理事業として実施。	予算	0	当初予定数(定員等)	12回	—	—	【平成8年度～】日時 毎月1回開催(原則第4水曜日)12:15～12:45 会場 区民ひろば 観覧者数 延べ2,281人 2・3月については、新型コロナウイルスにより中止	出演する学生にとって、観客の前で演奏する絶好の機会となっている。また、オープンスペースでの無料コンサートであり、誰でも気軽に音楽を楽しんでもらうことができる。。	音量の大きい楽器を使用した場合、区民ひろば周辺の部署の業務に影響がある。	事前に関係部署に内容を知らせ、協力を仰いでいく。	アカデミー推進課
					決算	0	実績数	10回	83.3%						
							申込数	—	—						
22	47	文03-01	カレッジコンサート	教育機関が集中している文京区の特徴を生かし、区内の大学及び専門学校の音楽クラブ・サークルによるコンサートを開催する。	予算	0	当初予定数(定員等)	8団体	—	77.8%	【平成15年度～】実施 9月14日(土) 会場 文京シビックホール小ホール 出演団体数 7団体(101名) 観覧者数 203人	平成28年度より指定管理事業として財団で実施。区内大学等の団体が参加し、実行委員会を組織するため、学校間の交流につながっている。また一般客を招待しているため、学生が広い世代に向けて演奏する機会にもなっている。	参加団体による実行委員会形式で事業運営を行うため、参加学生の当事者意識を高める必要がある。	実行委員会を週末に実施する等、学生の意見を聴き運営していく。また当日の運営についても、引き続き学生を主体とすることで当事者意識を高めていく。	アカデミー推進課
					決算	0	実績数	7団体	87.5%						
							申込数	—	—						

令和2年度 事業調査結果A 文化芸術分野(令和元年度実施事業)

【分野別目標3】「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課		
【基本的な方向性(1)】 地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の提供・充実														
23	48		史跡めぐり	年3回、文京ふるさと歴史館友の会との協働事業として、テーマを考え、区内及び近隣の歴史散歩を実施しています。特別展や収蔵品展など、歴史館の展示に因んだテーマでも行っている。	予算	154	当初予定数(定員等)	150名	—	【平成18年度～】年3回 第1回 6月12日/44人参加 第2回 11月29日/24人参加 第3回 実施せず (新型コロナウイルス感染症の影響による) 案内/文京ふるさと歴史館友の会「まち案内」ボランティアガイド	・歴史に特化したテーマ設定を工夫し、同じ場所・史跡でも異なった楽しみや価値を見出すことができている。 ・友の会ガイドの案内はアンケートでも満足度が高い。固定ファンも多く、一定の評価を得ている。同時にガイドの学習成果を発揮する場ともなっている。	感染症対策等を考慮した事業執行計画が必要である。 申し込み後及び当日キャンセルへの対応、中止の際の周知・契約関係事務等の再考が必要である。	今後の更なる高齢者層の増加に伴い、健康と生きがいづくりを兼ねた事業への需要はさらに高まることから、QOLの向上が図れるような史跡めぐりのメニューを検討していく。	アカデミー推進課
					決算	99	実績数	68名	45.3%					
							申込数	90名	60.0%					
24	48	文01-01	文京ゆかりの文化人顕彰事業	文京区に足跡を残した文化人を顕彰し、多様な文化的資源の継承、発掘及び情報発信を進める。年度ごとに生誕没後などの記念の年にあたる文化人を中心に、朗読コンテスト、講演会等の顕彰事業を実施する。	予算	520	当初予定数(定員等)	—	—	史跡めぐり:10月9日「金沢ゆかりの文豪の足跡をたどる～湯島から本郷へ～」案内:文京ふるさと歴史館友の会「まち案内」ボランティアガイド 参加者30人 講演会:10月19日「秋聲・鏡花・犀星-金沢三文豪と文京-」講師 大木志門氏 徳田章子氏 参加者95人	・文化人ゆかりの地を実際に訪ねたり、講演会を行うことで、文化人についてより詳しく伝えることができた。	対象文化人の選定に新たな視点や工夫、切り口を加える必要がある。	・顕彰対象文化人として、その年に話題となった文化人や、協定締結都市と双方にゆかりのある文化人を顕彰対象とするなど、顕彰対象の範囲を広げていく。	アカデミー推進課
					決算	412	実績数	—	—					
							申込数	—	—					
25	48		文の京ワークショップ	「現代の観潮楼＝交流サロン」として、森鷗外を中心テーマに幅広い利用者をひきつける多彩な事業を展開する。持続的な集客を図るとともに森鷗外や「文の京」を広く発信する。	予算	—	当初予定数(定員等)	142人	—	・ふみの日イベント【実施日】4月、5月、6月、8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月各23日 ※3月は中止 【場所】当館エントランス ・「夏休み読書感想文教室」全2回:講師 千葉尊子氏(全国学校図書館協議会講師) 【実施日】8月4日、18日 【場所】当館講座室 ・「こどもてつがく」講師 菰池依里氏(philokids TOKYO) 【実施日】9月8日 【場所】当館講座室	ふみの日イベントに関しては地域の皆さんに定着したようで、カード作りや年賀状の回には毎年同じ方が見えるようになった。読書感想文については、丁寧な指導ができた。こどもてつがくは、年齢層が広がってしまいが幅広い交流ができた。	読書感想文について、題材、参加年齢を限定したため、参加者が大幅に減ってしまった。こどもてつがくは講師の記録撮影があったため保護者から撮影許可をもらうなどし、企画以外での準備を多く要した。他、ふみの日イベントに関しては、天気や曜日に左右される。	読書感想文に関して、今後の開催は、内容を考慮する必要があるため一旦見合わせることにした。ふみの日イベントは、経費とつり合うよう工夫し、今後も恒例イベントとして実施し地域の交流の場を提供する。	アカデミー推進課
					決算	—	実績数	60人	42.3%					
							申込数	62人	43.7%					
26	48		新・観潮楼歌会	森鷗外を中心に多くの文人たちが集い、交流した「観潮楼歌会」にちなみ、幅広い文化・芸術体験事業を展開する。	予算	—	当初予定数(定員等)	170人	—	・「短歌日記とエッセイ」全3回 講師 東直子氏(詩人) 【実施日】5月18日、25日、6月1日 【場所】当館講座室 ・講演「応挙の幽霊画」 出演 一龍齋貞橋氏(講演師) 【実施日】8月3日 【場所】当館講座室	両講座ともに、利用者アンケートは満足という回答であった。3回講座は最終日は成果発表を行い講師や参加者と交流した。講演では夜間開館時間を利用した怪談とあって、子供から大人まで幅広い参加があり展示会の観覧へも繋がった。	講演については、講師の要望もありマイクを使用しない演出となった。参加者全員が内容を聞き取り易くなるよう工夫が必要である。	リハーサル時に座席配置を調整し、可能な限り多くの方が聞き取り易くするための工夫をした。	アカデミー推進課
					決算	—	実績数	126人	74.1%					
							申込数	148人	87.1%					
27	48	文01-02	「文の京文化発信プロジェクト」	文京区らしさを生かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を生かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールする。	予算	3,262	当初予定数(定員等)	—	—	金沢市友好交流都市協定締結式 実施日:8月4日 会場:宝生能楽堂 内容:友好交流都市協定締結式のほか、能「石橋」の鑑賞。 ・啄木学級 実施日:7月5日 会場:小ホール ・かなざわ講座 実施日:1月15日 会場:スカイホール ・石見神楽公演 実施日:2月22日 会場:小ホール	さまざまな事業を開催することにより、区と協定締結している自治体及び文の京・文京をアピールできた。	区と協定締結している自治体について、より区民の興味・関心を高めていく必要がある。	事業の中で、どのように自治体とのつながりや実績を周知できるか検討していく。	アカデミー推進課
					決算	2,763	実績数	1,350人	—					
							申込数	1,644人	—					

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)		実績(数)			参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課
					予算	決算	当初予定数 (定員等)	実績数	申込数						
28			盛岡市との友好都市提携記念事業	「文の京文化発信プロジェクト」に含む	1,000	1,000	当初予定数 (定員等)	300人	—	—	啄木学級 文の京講座 実施日:7月5日 会場:スカイホール 内容:盛岡市との友好都市提携記念事業として、例年の講演に加え、伝統芸能である「玉山日戸神楽」の披露を行った。	記念事業ということもあってか、例年よりも申し込み数が4割程度多かった。	友好都市である盛岡市について、より区民の興味関心を高めていく必要がある。	来年度以降も多くの方にお申込みいただけるよう、周知内容を充実させていく必要がある。	アカデミー推進課
【基本的な方向性(2)】「文の京」の伝統文化を守り、伝える人材の育成と活動支援															
29	49		文京ふるさと歴史館友の会の支援	文京ふるさと歴史館友の会の自主的な活動を支援し、地域の現状や歴史・文化を知るための学習機会の充実を図るため、活動場所の提供、主催事業「まち案内」の受付取次、自主事業への助言・協力などの支援を行っている。	99	97	当初予定数 (定員等)	—	—	—	【平成3年度～】 友の会自主企画事業(講演会・発表会3回、史跡めぐり・見学会等9回)、役員会(月1回)、会報・花時計発行(年4回)、まち案内ボランティアガイドほか	・歴史館の協働団体として、自主的な活動が円滑かつ充実して行われている。 ・歴史館主催事業に対して友の会からの積極的な協力を得られている。 ・友の会主催事業において歴史館への誘客が効果的に行われている。	・新規会員を増加させるため、効果的な広報活動を検討する必要がある。	現在、非常に良好な関係で相互の事業協力が行われている。今後も引き続き、より良い協働関係を維持するため、様々な支援を行っていく。	アカデミー推進課
30	49		文京ふるさと歴史館常設展示解説ボランティア	ふるさと歴史館友の会会員有志による解説ボランティアを養成し、来館者への案内を行うことにより、文京区の歴史・文化の普及を図る。	440	332	当初予定数 (定員等)	—	—	—	【平成25年度～】 毎週土・日曜午後、事前申込により随時実施 延べ利用人数/627名 ※2/23より新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため休止	・ガイドから積極的に来館者に声がけを行うなど、利用促進を図っており、利用者の理解が深まることにも、多くの感謝の言葉をいただいている。 ・ガイド就任時や定例の研修を行うことでガイドのスキルアップを図り、また解説活動がガイドの学習成果の発表の場ともなっている。	・ガイドの利用者増に向けた周知広報が必要である。 ・ガイドのさらなるスキルアップや、新しい人材の育成、確保が必要である。	今後もガイド活動を通じて区の歴史・文化を来館者にわかりやすく伝えていくとともに、ガイド自身の学習や発表の場としての活動を支援していく。	アカデミー推進課
31	49		森鷗外記念館解説ボランティア	解説ボランティアを養成し、自主的な活動を促進する。新たな活動を企画し、活動のブラッシュアップとともに、文京区の文学館としての機能強化を図る。	—	—	当初予定数 (定員等)	—	—	—	【平成25年度～】 毎週土・日曜午後、事前申込により随時実施(令和元年度年間従事日数:土日祝/104日208回)、ガイド:15名 延べ利用人数/873名 ※2/23より新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため休止	2月23日から活動休止となったものの昨年度より利用数は増加した。アンケートの自由回答欄には、分かりやすかった、また利用したいというご意見も多かった。	解説が不要な来館者から、静かに鑑賞できないのでやめてほしいとの意見がある一方で、参加者からは、解説の音が小さく聞こえないとの意見もある。双方の意見を反映させることができる解説の方法を検討する必要がある。	あらかじめ解説を実施する日時をアナウンスするなど、解説を希望しない方が来館日時を選べるようにしている。また、ハンズフリーマイクを使用するなど、解説希望者が聞き取り易くするための工夫もしている。	アカデミー推進課
32	49		技能名匠認定事業	永く同一職業に従事し、経験が豊かで、物を造る技術が非常に優れ、製作物に信頼性があり、かつ、後進の指導及び育成に積極的な方を技能名匠者として認定する。	354	150	当初予定数 (定員等)	7人	—	—	永く同一職業に従事し、経験が豊かで、物を造る技術が非常に優れ、製作物に信頼性があり、かつ、後進の指導及び育成に積極的な方を技能名匠者として認定する。	文京区技能名匠者を認定したこと、ものづくりに携わっている技術者の社会的評価を高め、伝統的技術、技法の維持向上と技術習得意欲の促進を図ることができた。	事業実施当初に比べ年度ごとの認定者数が落ち着いてきている。	認定者数増加のため、更なる事業周知に努める。	経済課
33		文02-01	「来て見て体験」文京の伝統工芸	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、ものづくりに関心のある区民や国内外の観光客の集客を図り、伝統工芸の魅力を発信するため、毎月2回不忍通りふれあい館で「来て見て体験」文京の伝統工芸を実施する。	2,987	2,984	当初予定数 (定員等)	24回	—	—	毎月2回、計22回不忍通りふれあい館でイベントを実施した。(3月分は中止。)	本イベントのファンの方も多く、伝統工芸の魅力を発信することができた。	新規ファンの獲得が必要である。	今後も更なる事業周知に注力し、伝統工芸の魅力を発信していく。	経済課

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課			
<b>【基本的な方向性(3)】 文化資源の再発見と保存・活用の推進</b>															
34			文京ふるさと歴史館特別展	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた特別展を開催する。	予算	4,874	当初予定数 (定員等)	—	—	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた館蔵資料を主体に、他機関で所蔵する資料を借用して特別展示を開催する。	開館から四半世紀を過ごし、来館者数が頭打ちの傾向にあり、新規来館者の増加について検討する必要がある。	これまで光のあたりにくかった文化資源の発掘と活用に向けて、来館者のアンケートなどに基づき改善点を抽出し、より魅力ある展示事業としていく。	アカデミー推進課		
					決算	4,429	実績数	4,138 人							
							申込数	—							
35			文京ふるさと歴史館収蔵品展	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた館蔵資料を中心とした収蔵品展を開催する。	予算	791	当初予定数 (定員等)	—	—	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた館蔵資料を中心とした収蔵品展を開催する。 ※3/2より新型コロナウイルス感染症対策による休館で中止	文京区の歴史や文化に関わる資料をテーマに沿って展示し、館蔵資料の多様性を周知することができた。	展示方法や展示解説などで、改善する余地がある。	館蔵資料をさまざまなテーマや多角的な視点で展示・活用することで、地域資料の価値の再発見を進めていく。	アカデミー推進課	
					決算	708	実績数	1,573 人							
							申込数	—							
36			森鷗外記念館特別展・コレクション企画	森鷗外の作品や人生に関連することをテーマに、資料収集、調査研究した成果を、特別展及び館蔵品を中心としたコレクション企画として実施する。	予算	—	当初予定数 (定員等)	—	94.0%	【実施日】 4月6日～6月30日 特別展「一葉、晶子、らいてうー鷗外と女性文学者たち」※関連講演会2回、ギャラリートーク3回 7月5日～10月6日 コレクション展「文学とビールー鷗外と味わう麦酒の話」※関連講演会1回、ギャラリートーク3回 10月12日～1月13日 特別展「永井荷風と鷗外」※関連講演会2回、ギャラリートーク3回 11月18日～8月2日※3月2日から新型コロナウイルス感染防止対策のため5月30日まで臨時休館 コレクション展「父と母ー鷗外のファミリー・ヒストリー」※関連講演会1回、ギャラリートーク2回	年間を通して「デュエット」をテーマに展示会を企画、開催した。特別展については研究者や文学館関係者の来館も多く、他館との交流や連携を実施することができた。コレクション展については、両展示会ともメディアへの露出も多く、新規顧客を獲得できたため今後の来館へ繋げる。	展示関連講演会について、毎回、応募者が多く抽選となる。落選が続いた方から前回の落選者を優先してほしいとの意見があった。	講演の内容が毎回異なるため、意見に沿った対応を実施することは相応しくないと考えるが、あらかじめ応募者数に見合った会場を手配するなど、可能な限り希望する方の多くが参加できる工夫している。	アカデミー推進課	
					決算	—	実績数	21,394 人							
							申込数	—							
37			映像資料調査・保存事業	貴重な映像資料を地域文化資産として後世へ継承するため、区民等から区内の過去の情景や風俗等が記録されている8mm・16mmフィルムを収集し、デジタル化による保存作業を行う。また、これらの映像資料を20分程度の映像作品として編集・加工し、BGMやナレーションを加えた上でDVD化する。	予算	0	当初予定数 (定員等)	—	—	新たに映像の収集や活用はせず、現在保持しているものの保持に努めた。	問い合わせに対し、貸し出しの可否や手続きを随時対応している。	特になし	特になし	アカデミー推進課	
					決算	0	実績数	—							
							申込数	—							
38	文01-05		指定文化財等の保護・保存と管理	文化遺産等の維持・保全と活用のため①～③を行う。 ①国・都・区指定文化財を保護するためにその修理事業に対して補助金を交付するとともに区指定文化財に対して奨励金を交付する。 ②区指定文化財を調査・記録し、保護に努める。 ③区内の文化財を広く区民に周知するとともに、区民の文化財に対する理解と認識をうながすため、文化財・坂道標示板の維持管理及び新設を行う。	予算	11,766	当初予定数 (定員等)	121 件	—	①補助金の交付申請：12件 7,475千円 奨励金の交付申請：71件 1,230千円 ②区指定文化財に対し、次年度補助金申請の有無を確認するため事業計画を送付：33件 ③文化財・坂道標示板：補修8基、建替2基	①補助金の交付申請があったところに対しては、補助金の支払いを行った。 奨励金の交付申請があったところに対しては、奨励金の支払いを行った。 ②事業計画を送付したところ、5件の補助金申請の希望があった。 ③老朽化しているの標示板の建替等を行った。	①文化財の維持管理・修繕には多額の費用が必要となるので、より当補助金を利用してもらい、文化財を良好な状態で保存していく必要がある。 ②計画的に事業計画を立て補助金を活用すべきであるが、年度途中での補助金活用の希望もありルールが浸透していない部分がある。 ③文化財及び坂道標示板の維持管理を実施し、必要であれば建替等を行っていく。	①、②文化財所有者には補助金活用の手順等の周知を徹底し、補助金の活用を促進する。 ③標示板の不具合の早期発見に向け、既存標示板の点検等を行う。	教育総務課	
					決算	10,186	実績数	98 件							81.0%
							申込数	—							

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満 足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課			
【基本的な方向性(4)】文化資源に関する情報収集・整理と発信															
39	51		文の京ミュージアムネットワーク	区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」(文京ミュージアムネット)として連携し、各施設の特色や個性を発信する。	予算	1,809	当初予定数 (定員等)	42,000 部	—	—	ミュージアムネット会議 実施日:6月26日 会場:スカイホール 内容:各施設の取り組みや現状について情報共有していただいた。  ミュージアムマップ 日本語版を12月に35000部、英語版を2月に7000部作成、発行	ミュージアムマップを各施設に配架し手に取ってもらうことにより、来場者にミュージアム施設について周知できた。	感染症対策などにおけるミュージアム施設の連携について検討する必要がある。	ミュージアム施設と連携を図るため、よりよい関係づくりに努める。	アカデミー推進課
					決算	1,485	実績数	42,000 部	100.0%						
							申込数	—	—						
40	51		コンピューターによる館内閲覧システム	地域の歴史や文化資源に関する情報を集約し、ふるさと歴史館来館者が、自身で知りたい情報を閲覧できる環境を提供する。	予算	5,148	当初予定数 (定員等)	—	—	—	平成30年度はサーバー1台、PC7台プリンター2台外PC機器の入替えを実施した。 閲覧用コンテンツに間違い探しと双六、定点観測の新規撮影データを追加した。	処理スピード及び操作性を向上させ、より使いやすい仕様とした。多くの来館者が利用している。	開館以来使用しているコンテンツが一部残っており、現在の技術に適用した仕様への変更が求められている。	毎年、古いコンテンツを徐々に改修している。	アカデミー推進課
					決算	4,470	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
41	51		文京ふるさと歴史館だより・年報の発行	文京の歴史・文化に関する情報や、歴史館の事業、調査研究成果等について周知する。	予算	392	当初予定数 (定員等)	6,500 部	—	—	文京の歴史・文化に関する情報や、歴史館の事業、調査研究成果等を冊子にまとめ、周知する。	区民・関係機関・来館者などに事業等を周知ができた。 歴史館だより 6,000部 年報 500部	歴史館だよりは現在2色刷りであるが、より興味を持って見てもらう工夫が必要である。年報についても、より多くの方に見てもらえる機会を増やす必要がある。	現物の色が伝わりやすくするよう歴史館だよりのカラー化等を検討する。年報バックナンバーで残部のあるものを配架し、希望する来館者が持ち帰れるようにした。	アカデミー推進課
					決算	392	実績数	6,500 部	100.0%						
							申込数	—	—						
42	51		森鷗外記念館ニュース・年報の発行	森鷗外や文学に関する情報、記念館の事業、調査研究成果等について周知する。	予算	—	当初予定数 (定員等)	24,000 部	—	—	森鷗外記念館における展覧会告知・報告、イベント等の活動報告、所蔵資料の紹介を掲載した。	区内施設・関係機関・来館者などに事業の周知ができた。	発行部数に限りがあるため、手にすることができなかった方への対応が必要である。	ホームページにPDFデータを掲載するなどの対策もしているが、協力先等への配布枚数を毎回見直すなど、希望する来館者が取得できるよう工夫している。	アカデミー推進課
					決算	—	実績数	24,000 部	100.0%						
							申込数	—	—						